



Japan Nursing Ethics Association

NEWS LETTER No.11

2017年12月

日本看護倫理学会会員情報誌

第11回年次大会のご案内

日本看護倫理学会第11回年次大会長を務めます高田早苗です。神戸の地で志を共にする仲間と日本看護倫理学会の旗挙げをしてから早くも10年の月日が流れました。この10年で、確かに「倫理」あるいは「看護倫理」という言葉は看護の現場にも教育や研究分野にも浸透してきました。しかし、それでは医療現場における患者の権利や尊厳は、と考えると道半ばの感を抱くのは私だけではないと思います。抑制・拘束は依然として続いています。清拭はすぐに冷めてしまう紙おしぼりで行われるなど、よいケアを受ける権利はむしろ後退しているように感じられます。看護師の養成数は増え続け、大学や大学院で学んだ看護師も増えてきているにもかかわらず、なぜなのでしょうか？

この疑問から本大会のテーマ、「Emancipatory Knowing - 変革のための看護倫理 -」の着目に至りました。emancipatory knowing エマンシパトリーノウイングとは、解放知と訳され、「社会、文化、政治の現状に気づき、批判的に熟考し、何故、どのようにしてその現状のようになったのかを明確にする人間の能力」*を言います。私たちは社会的な制度のなかで、また文化的価値規範の中で生活しています。このことは普段あまり意識することはありません。しかし、医療や看護の実践現場で起こっていることに目を向けると、診療報酬制度や看護必要度などのシステムに組み入れられ、あるいは医療安全が強調されるなかで、看護師の仕事の仕方は大き

重要期日

2018年1月9日(火) 17:00まで延長しました

第11回年次大会演題登録締切日

2018年4月10日(火)

第11回年次大会事前登録締切日

関連セミナー

「臨床で身体拘束をしないための看護管理者の役割」

平成30年1月21日(日) 10:00~16:00

会場: 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

ウインクあいち 12階 1202室

詳細は下記をご参照下さい

<http://jnea.net/images/oshirase/training7.pdf>

会期: 2018年5月26日・27日

会場: 日本赤十字看護大学

く影響されてきていることに気づかされます。そして、見えないところで決められていることに、私たちは気づかぬうちに従い、無力化させられているのかもしれない。

倫理的問題に気づく、けれど解決の糸口がつかめない、倫理的であろうとすると苦しくなるばかりだ、これらの状況は、背景に社会政治的状況やそこにおける支配的価値が深くかかわっているからに他なりません。医療における不公平・不公正に気づき、このような閉塞的状況を打破する第1歩を踏み出す学会にしたいと企画委員一同はりきっています。

学術プログラムもテーマに沿った講演やシンポジウム、そして広く参加していただけるワークショップなど、準備を進めております。ぜひ、ホームページURL (<http://www.jnea11.com>) をご覧ください。皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

* Chinn, P. L. & Kramer M. K. (2015) Knowledge Development in Nursing (9th ed.).



第10回年次大会終了報告

2017年5月19日・20日両日にわたって開催された日本看護倫理学会 第10回年次大会「新たな看護の歩みと倫理」(ホルトホール大分)は無事に終了致しました。九州地方での開催に関わらず、参加者750名と多くの方々にご参加頂きました。学会の新たなステージに向けた発信の時期に大分にお越しいただきありがとうございます。交流集会や研究発表など盛況となりましたこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

第10回年次大会長 小野美喜(大分県立看護科学大学 教授)

MEDICAL FINDERの更新について

本学会では、会員サービスの一環として、医学書院の学術誌閲覧サービス『Medical Finder』を提供しています。

本学会員であれば無料で利用することができます。ご利用方法は学会HPに記載しておりますので、ご活用ください。

なお、本サービスのご利用に必要なIDとPWは以下のとおりです。

(2018年12月31日まで)

ユーザーID jnea パスワード u8teyw

*「看護系論文データベース(医書.jpプラットフォーム)」サイト

<https://nj.islib.jp>

*アクセストークンの閲覧方法が変更になります。詳しくはHPをご覧ください。

広報委員会より

日本看護倫理学会設立10周年を記念してロゴマークを公募し、平成29年5月 奥本 綾香氏の製作したロゴマークが採択されました。

【コンセプト】

看護職が抱く「看護に関わる全ての人の尊厳や権利を守りたい」という「思い」と、日本看護倫理学会として「これからも多様な価値観を大切にし、高い倫理性を持つ看護を追求していきたい」という「決意」を表現しました。

また、様々な職種の人との連携をイメージし、円で囲むことでつながりを表現しました。

「心に倫理を抱こう」がキャッチコピーです。



編集後記

広報委員も二期目となりました。学会ロゴマークも出来て、その活用法も検討中です。懸案だった学会HP英語版も準備を進めております。会員の皆様からのご意見、ご要望をお待ちしております。

広報委員 久保田聰美 小笹由香 ウィリアムソン彰子

活動報告

第三期学会役員のご紹介

理事長 長谷川美栄子(臨床倫理ガイドライン検討委員会)

副理事長 八代 利香(編集委員会)

理事 安藤 広子(会計)

北村 愛子(学術活動推進委員会)

久保田 聰美(広報委員会/日本看護系学会協議会)

坂田 三允(編集委員会)

鶴若 麻理(臨床倫理ガイドライン検討委員会/学術活動推進委員会)

山下 早苗(庶務/日本看護系学会協議会)

永易 裕子(会計)

浦出 美緒(庶務/日本看護系学会協議会)

小島 操子(監事)

佐伯 恭子(監事)

*新評議員はHPよりご確認ください。入会にあたり評議員の推薦が必要な方がいらっしゃいましたら、お近くの評議員とご連絡をお取りください。

事務局

〒162-0801

東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター

株式会社国際文献社内

TEL: 03-5937-5644/ FAX: 03-3368-2822

E-mail: jnea-post@bunken.co.jp